

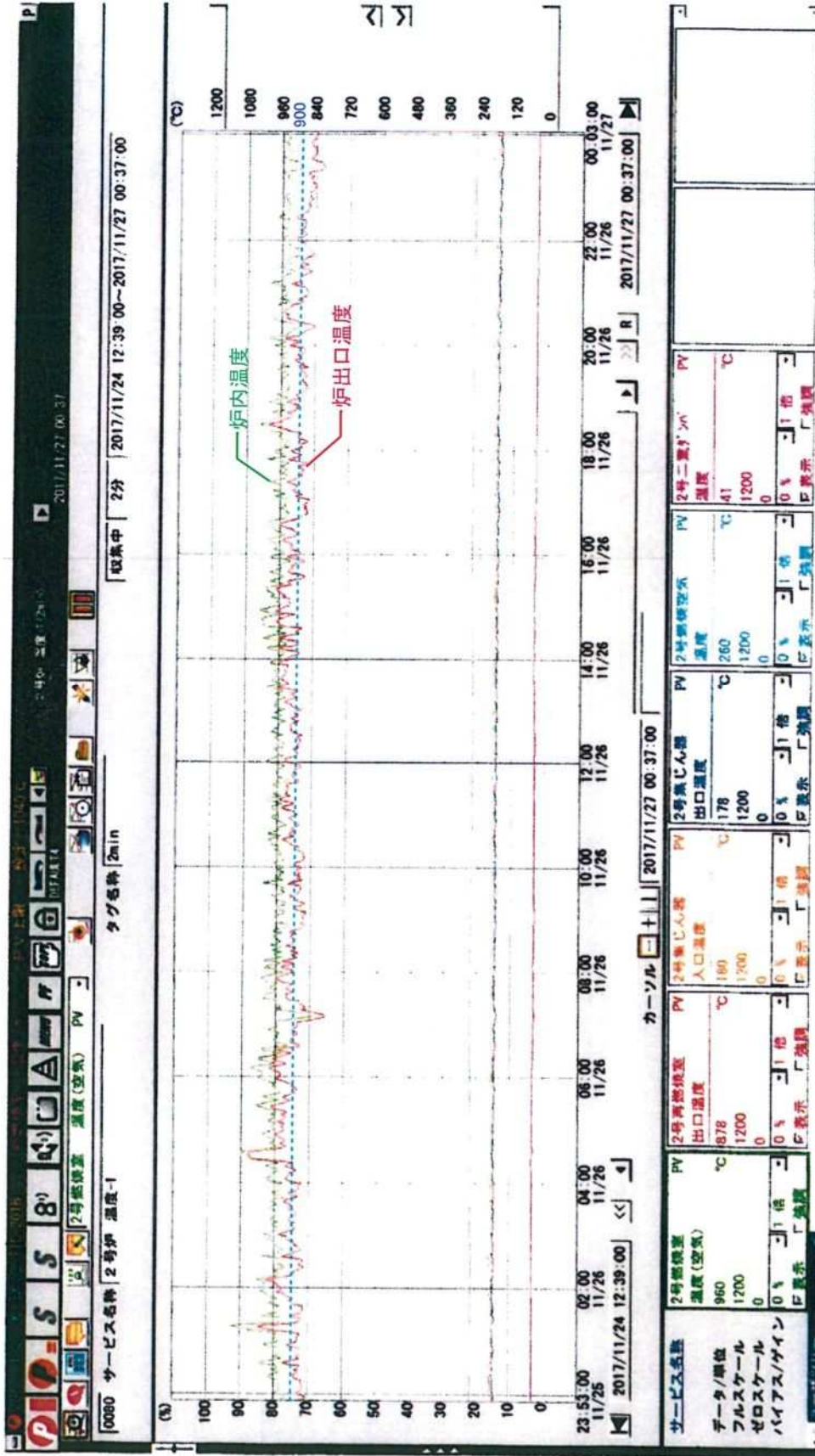
## 前回の審査会議(平成30年8月31日)等における指摘事項に対する申請者の回答

番号	項目	指摘事項	申請者の回答
1	焼却施設の構造に関すること	<p>(二次燃焼室ガス滞留時間について)</p> <p>① 焼却炉・ガス冷却室組立図(図面番号T-2588)に二次燃焼室の範囲が明示されていない。また焼却炉・ガス冷却室構造図に二次燃焼室の吹き込み位置が明示されていない。</p> <p>② 容量計算書において、二次燃焼室ガス滞留時間はガス温度950℃で計算されているが、炉内の排ガス温度分布上、950℃よりも高温となる部位もあると考えられ、その場合滞留時間が短くなるが問題ないか。</p>	<p>① ご指摘の内容を各図中に明示しました。焼却炉・ガス冷却室組立図(図面番号T-2588)は別添1を、焼却炉・ガス冷却室構造図は別添2を参照願います。</p> <p>② 炉内で排ガスが局所的に950℃よりも高温となる部位もあると想定されますが、炉出口温度は950℃以下となるよう水噴霧および冷却空気により制御しており、二次燃焼室内の平均ガス温度としては950℃と考えて計算しています。廃掃法の技術基準である800℃以上2秒以上滞留に対し温度的に余裕を持たせており、実績上も適切な温度設定と考えております。</p>
上記に関する審査会議(平成30年8月31日)での指摘事項と回答			
		<p>容量計算書のとおり炉出口温度が950℃であれば、その上流ではガス温度が高いと思われる。その温度を考慮した計算とするか、容量計算書の記載を平均温度とするか、検討すること。</p>	<p>炉内温度及び炉出口温度は、炉出口温度計よりも上流側にある二次燃焼室内に設置した炉内温度計で測定した温度を読み取り、水噴霧量および冷却空気量を調節することにより制御しています。実運転では、炉内温度を950℃に制御することにより、</p> <p>① 炉内温度が950℃から炉出口に向かって徐々に低下する場合</p> <p>② 炉内温度・炉出口温度ともに950℃に維持される場合</p> <p>など、その時の燃焼状態によって炉内の温度分布は変化します。実運転における①②それぞれの温度測定トレンドを、添付資料1、2のとおり添付しますので参照願います。いずれの場合も、炉内温度及び炉出口温度が平均して950℃以下となるため、滞留時間が2秒を切ることはありません。<u>容量計算書の二次燃焼室出口温度という表記は、二次燃焼室内設定排ガス温度と修正します。</u></p>
		<p>炉内噴霧ノズルの位置が焼却炉・ガス冷却室組立図(図面番号T-2588)と焼却炉・ガス冷却室構造図で異なるのではないか。</p>	<p>両図面において、炉内噴霧ノズルの位置は同一です。</p>

番号	項目	指摘事項	申請者の回答
6	稼働実績	比較的新しい装置の場合、運転実績をフォローすることにより装置のトラブルが発生しているか否か確認したいため、実績を示してほしい。実績と合わせて、感染性廃棄物を処理している類似プラントの炉構造図を提出してほしい。	納入実績は別添3を参照願います。 類似プラントの炉構造図は別添4を参照願います。
上記に関する審査会議(平成30年8月31日)での指摘事項と回答			
		提出された納入実績表No.2の炉構造図は、本申請の炉と比べて高さが高く(高架煙道中心の高さで納入実績No.2は19,500mm、本申請は18,800mm)、特殊整流装置上部の空間も大きい。本申請では建屋の制限で炉の高さを低くしたということはないか。 最近の実績の炉構造を確認したいため、納入実績表No.24、No.26の炉構造図を提出してほしい。	納入実績表No.2の焼却炉は、本申請よりも処理能力や処理物低位発熱量が大きいため炉容積も大きく、結果的に高架煙道の高さが高くなっています。特殊整流装置の位置については、現在に至るまでの設計検討の結果、装置上部の空間よりも、下部の空間を確保することが、燃焼上、より重要と考慮して決定しています。(特殊整流装置の目的は、ガスの混合・攪拌もありますが、主目的はガスの整流にあります。ガスの混合・攪拌については、燃焼空気の吹き込み方を工夫し、旋回流を生じさせることにより促進させます。) 本申請では、焼却炉は屋外に設置しており、建屋による高さの制限はありません。  納入実績表No.24及びNo.26の炉構造図は、添付資料3、4を参照願います。

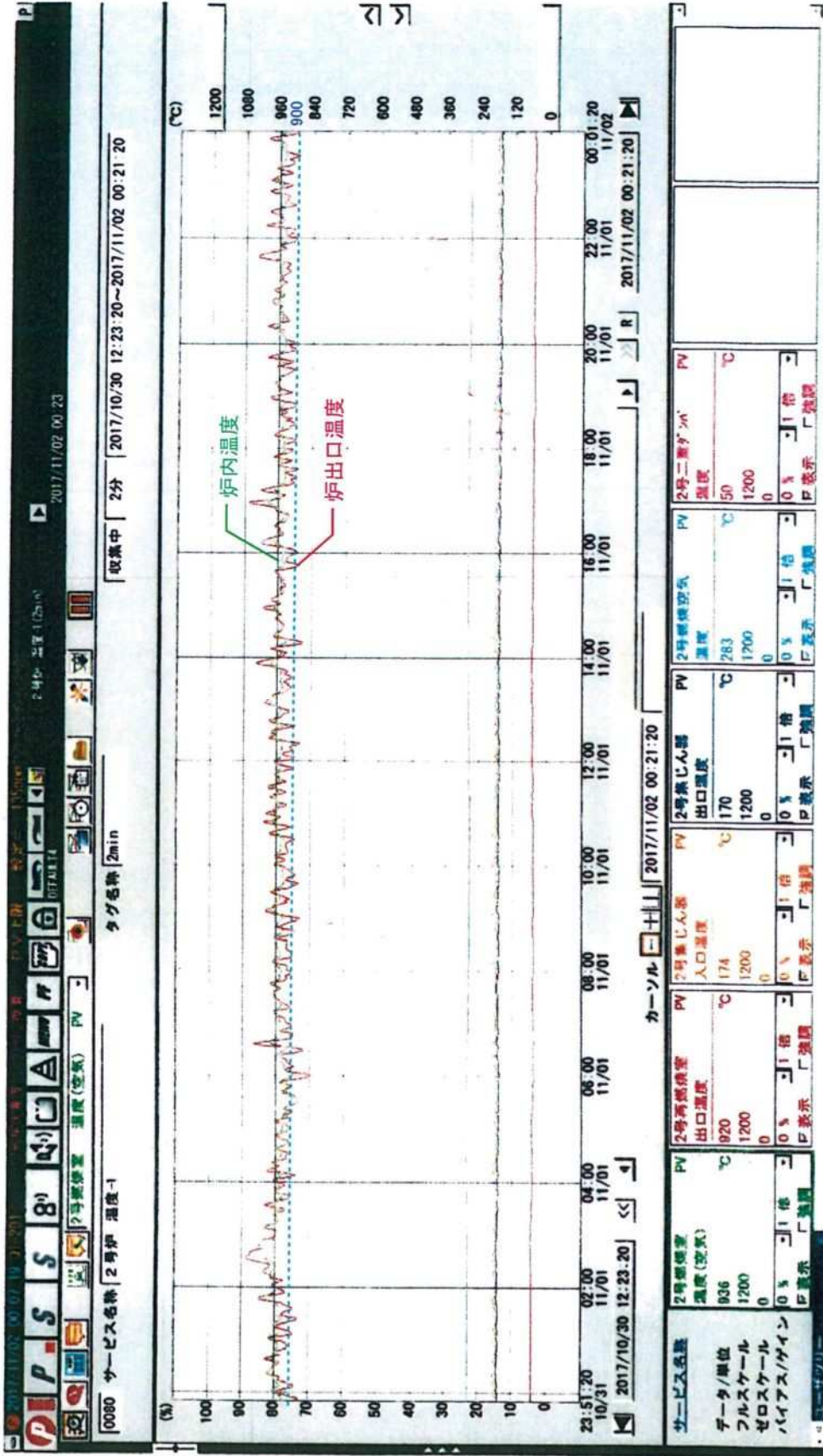
2017/11/27 00:37:50

① 温度測定トレンド(炉内温度約950°C・炉出口温度約900°C)



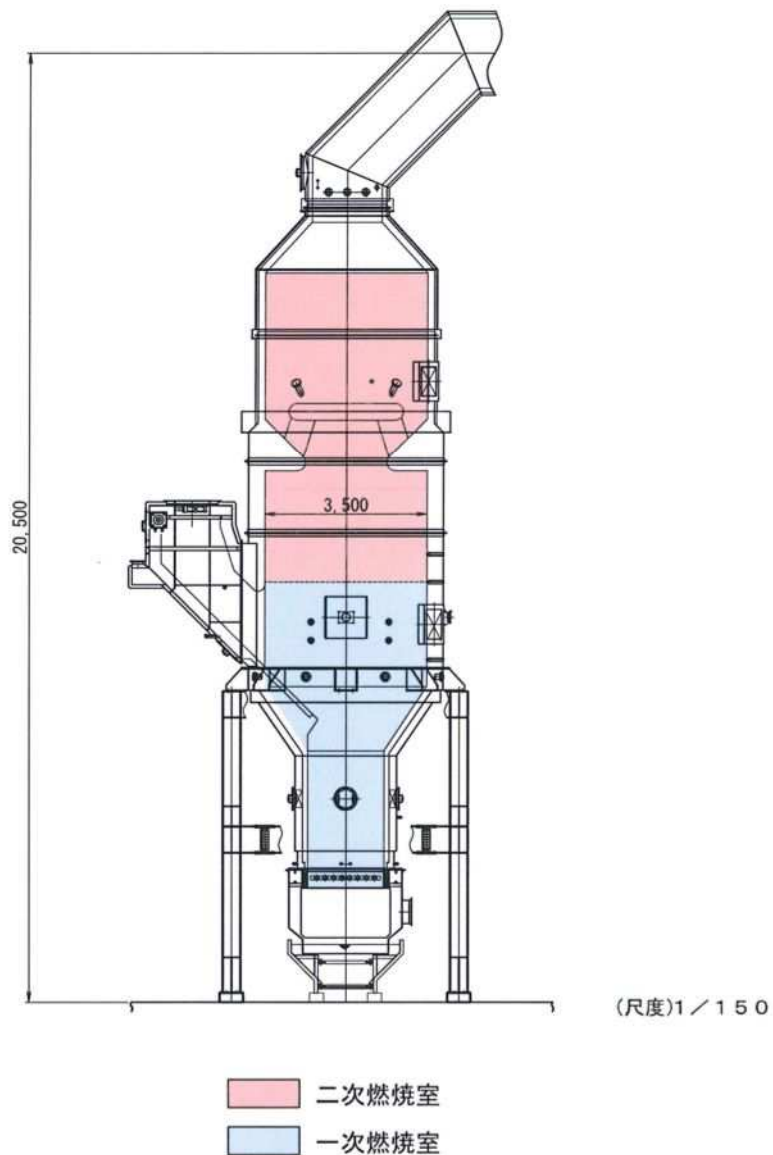
2017/11/02 00:23:08

② 温度測定トレンド(炉内温度・炉出口温度約950°C)



実績プラント炉構造図

納入先：〇社（納入実績表No.24）  
 処理物：産業廃棄物  
 処理能力：46.29 t / 24h  
 炉容積：89.5m<sup>3</sup>（二次燃焼室 54.5m<sup>3</sup>）  
 滞留時間：2.01秒（排ガス温度 950℃）



実績プラント炉構造図

納入先：T社（納入実績表No.26）

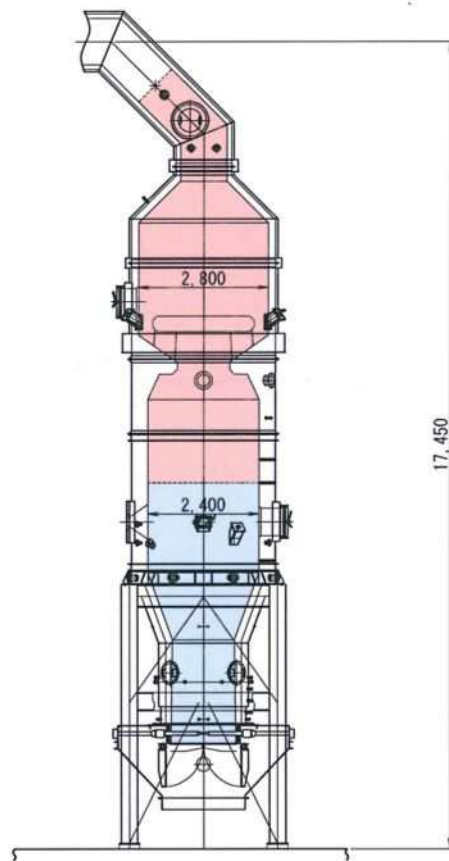
処理物：医療廃棄物

処理能力：36 t /24h

炉容積：49m<sup>3</sup>（二次燃焼室 28.5m<sup>3</sup>）

滞留時間：1秒以上（排ガス温度 1,000℃）

※納入先は海外であり滞留時間は現地の法規制に対応。



(尺度)1/150

- 二次燃焼室
- 一次燃焼室